

2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】
株式会社Inspire High

【サービス名】
Inspire High

【支援項目】
授業、授業準備



InspireHigh

Expand Your Horizons.



2025年1月

Inspire High(インスパイア・ハイ)は、普段出会えない、世界中で活躍するインスパイアリングな大人(ガイド)から、多様な生き方や価値観、仕事、社会課題に触れる体験を教室に届けます。
「答えのない問い」について、自分自身の考えを表現し、他者と共有する時間も。
自己理解や他者理解の促進、好奇心・創造力・表現力を育みます。



日本E-learning大賞の経済産業大臣賞をはじめ、国内外の教育アワードでの受賞実績もあります。
2023年は、The LPI Award スタートアップ部門ファイナリストにも選出。



経済産業大臣賞



1回の授業の流れ | 聞いて終わりではない、能動的な学び

多様な大人の話をもとに、各回の問いを自分で考えて表現。さらに同じ問いに対する全国の10代の意見を見て、世界を広げていきます。



学校ごとの探究学習の目的やカリキュラムにあった授業計画をご提案

例) 全体の目的に対して、Inspire Highのセッション(テーマ)をプロットしてご提案



世界を知り、自らの問いに向き合い、進路につなげる3つの機能

Session



多様な大人の生き方・仕事・
価値観に触れ、自分を知る

- 現在約50本ほど、多様なガイドが登場
約半分が海外ガイドで幅の広い人選
- ガイドの「答えのない問い」を自分も
考えることで思考を深め表現する練習に
- 毎年数本ずつ新作動画を追加予定

Project



「自分だけの問い」の個人探究を
動画とデジタルでサポート

- 仮説、リサーチ、行動計画づくりなど
探究の一連の流れをサポート
- 動画では考え方や視点をレクチャー
ガイドが再度登場するためSessionと接続
- 将来に繋げる設計で進路選択にも最適

Inspired 100



全国から集まった約100もの
”自分にまっすぐな問い”を表彰

- 2024年度よりリニューアル
- Projectの成果物でエントリー可
年間の学びの目標として活用しやすい
- 受賞すると「年鑑」に収録され、
ガイドや企業の講評を得られる場合も

3つの機能に共通する特徴

- 生徒は学校外の10代の考えに触れることができる。
- 先生方への実施までにかかる負荷が少ない。

■導入実績

学校等設置者

自治体数	10
学校法人数	35

学校等教育機関数

合計校数	48
------	----

内訳)

中学校	15
高等学校	32
教育支援教室	1

活用事例： 群馬県立高崎高等学校(高校 2年生の事例)

今回の活用の狙い

- ・校内では準備が難しい「社会課題に立ち向かい、社会を変える (変えようとしている)大人」の考えを聞く機会を設けることで、学校独自で取り組んでいる「課題研究」活動のヒントにしてほしい。
→なかでも、ビジネスプランを考える際のアイデアを生み出すことがねらい。
- ・様々な経験に基づいた発想豊かな大人の考えを聞くことが刺激となり、課題研究の糸口としてほしい。
また、生徒の人生観にインパクトをもたらしたい。

活用形式と対象

- ・高校2年生全員に実施。
- ・各クラスの担任がセッション動画を選択して、クラスで視聴。

結果

- ・担任の授業準備はシンプル(事前に動画や概要を見て選択するだけ)で、ねらいを達成できる内容であった。

活用教員のコメント

「教員の視点では、本校の生徒が経験をしたことがない、さまざまな背景や状況に置かれている方、外国の方等の考えを聞くことで、生徒の世界が広がると考えている。社会(広い世界)の中で、自分に何ができるかを考えてほしい。また、今後セッションが増えることを期待している。」

授業を受けた生徒のコメント(投稿履歴より抜粋)

「今、学校でビジネスプランの作成をしています。社会課題の解決方策を考えるだけでも大変ですが、問題はそれをどのように実現していくかということでした。自分たちで考えていても、単調であったり、そもそもビジネスとして成り立つような計画を立案できなかつたりしていました。そんなとき、視聴したセッションのガイドの方が、『多様な面から物事を考える how の視点が企画をするときに大切だ』と述べておりました。自分としても、こうした考えをもとにビジネスプランを考え、より価値のあるものとなるよう精進していきたいと思いました。」

セッション活用事例

201



202



203



204



205



206



207



活用事例： 岐阜県立羽島高等学校(高校 1年生の事例)

今回の活用の狙いや背景

- ・1年生では総合探究の目標テーマを「自己理解」と定めた。Inspire Highは自己理解を促す教材としては最適であったため活用するに至った。
→特にInspire Highは大人／同世代に限らず他者の考えを知ることができるので、それらを参考にしながら自己理解を深められる点に期待。
- ・総合探究の教材準備を全て教員だけで補うのは現実的ではないため、働き方改革の一環として授業準備を効率化できる点も魅力だった。

活用形式と対象

- ・高校1年生全員に実施。
- ・学年で活用するセッションを共通で決定し、各クラス一斉授業を数回実施。

結果

- ・教員の授業準備への負担はほぼゼロに等しいにもかかわらず、生徒の取り組みやすさが担保されていた。

活用教員のコメント

- ・「他者理解や自己理解または社会について理解するきっかけとなっておりとてもよかった。
今後もっと動画の本数や種類が増えていくことに期待しています。」

授業を受けた生徒のコメント(投稿履歴より抜粋)

- ・「私は苦手なこと・嫌いなことにはまったくやる気を持たず、進まない反面、興味のあることや好きなことならどれだけでもやり続けることができるタイプ。
セッションを見てワクワクしない方向よりワクワクする方向に進むことで、努力して継続できると思ったので、印象に残りました。 私は今、数学がとても楽しいと感じているので、それに合った進路を歩みたいと思いました。」

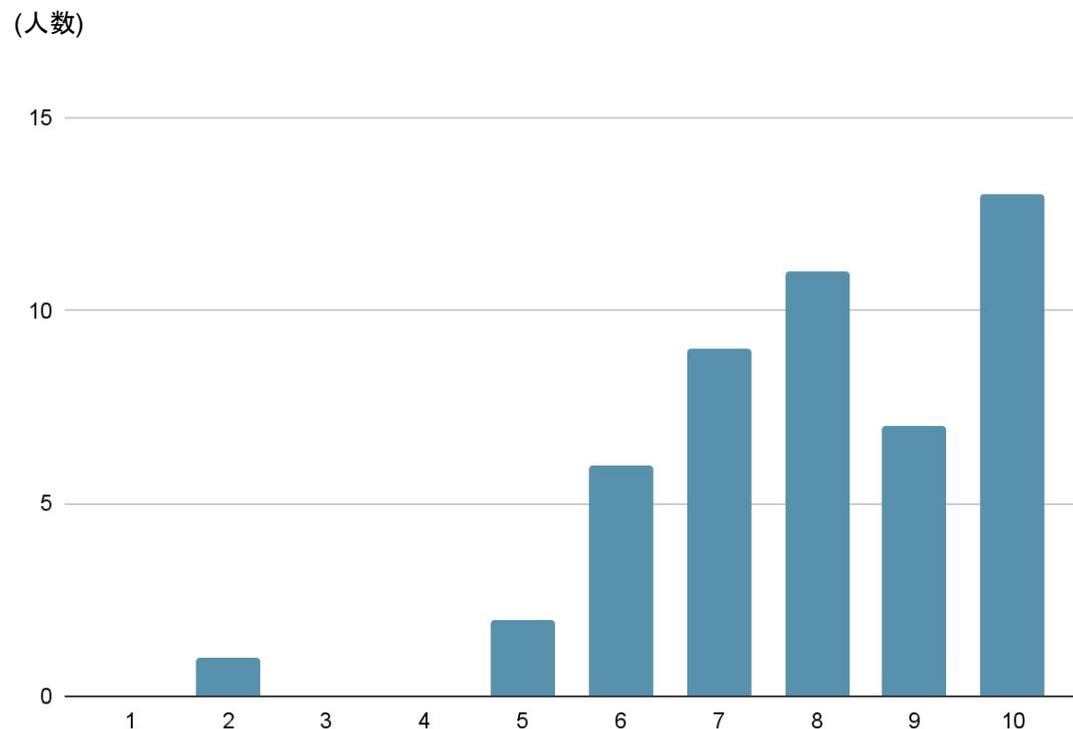
セッション活用事例 →



■導入校に満足度調査を実施（※回答総数 40校49名より回答）

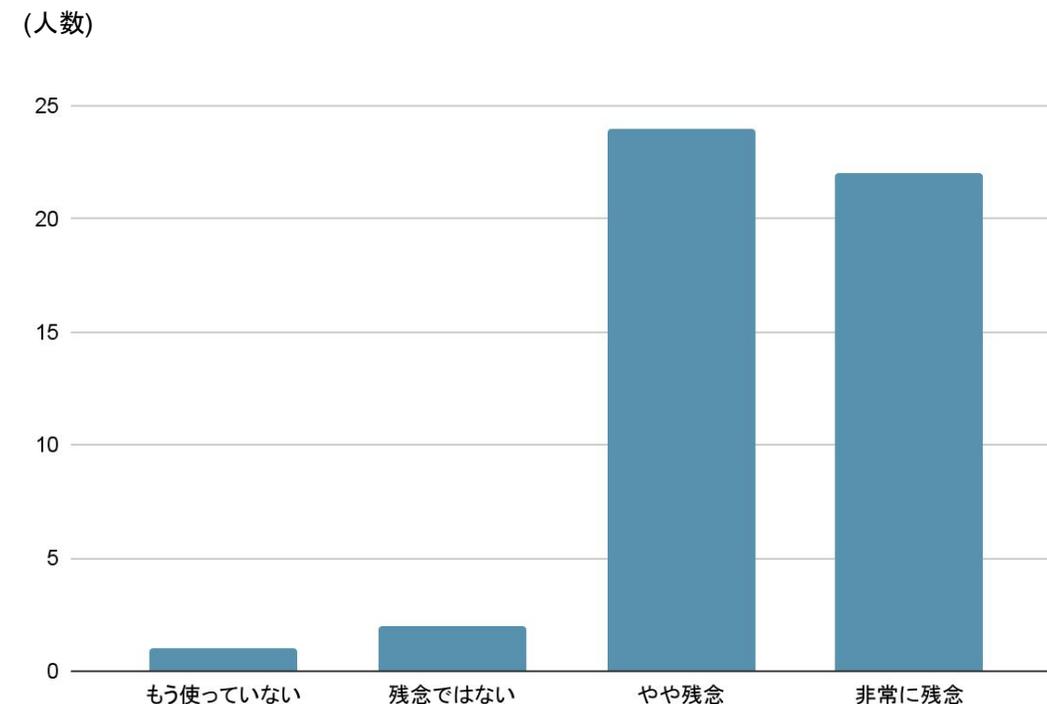
「Inspire Highを他の先生にも推薦したいと思いませんか？」
との質問では**平均点が8.0点**と高い結果となった。

Q1.Inspire Highを他の先生にも推薦したいと思いませんか？



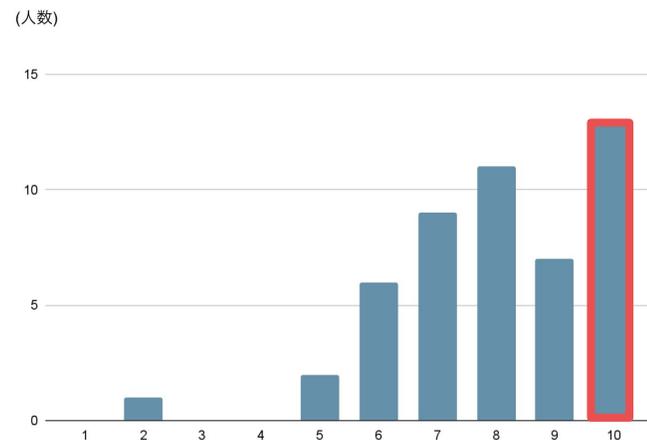
「Inspire Highが使えなくなったら、どう思いますか？」
との質問では「残念」と答える教員が**46名/49名**だった。

Q2.Inspire Highが使えなくなったら、どう思いますか？

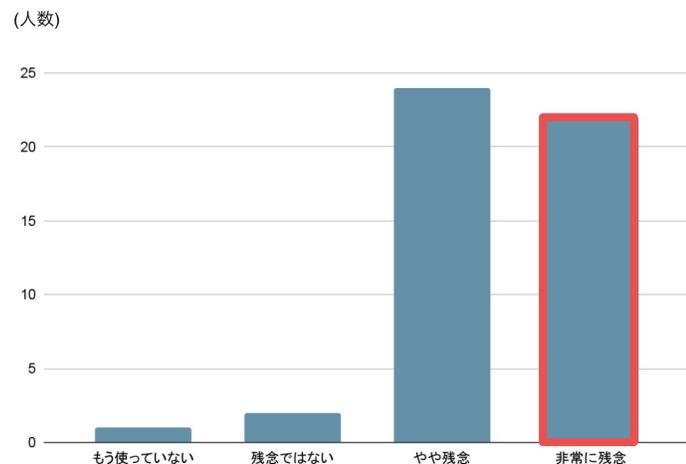


■導入校に満足度調査を実施（※回答総数 40校49名より回答）

Q1.Inspire Highを他の先生にも推薦したいと思いますか？



Q2.Inspire Highが使えなくなったら、どう思いますか？



Q1.「Inspire Highを他の先生にも推薦したいと思いますか？」
Q2.「Inspire Highが使えなくなったら、どう思いますか？」
にて、**どちらも最高評価**をした教員によると、
Inspire Highを活用することで
「サービス導入前は1週間における1日の平均準備時間は
1日2時間だったが、導入後には**1日0.5時間**に減った」
と教員の働き方に良い変化を及ぼした回答 もあった。

■満足度調査より定性的な評価コメントを抜粋(教員負担削減や働き方改革に関する記述を抜粋)

私立高校教員

- ・これだけの“教材の質の良さ”と“フォローアップ体制”を整えてもらえるものはない。
- ・生徒にとっての理解しやすさや面白さ、**教員にとっての運用のしやすさ** など、両者にとって非常に素晴らしい教材だと思う
- ・教員の負担を減らすといった意味でも丸投げはできないが
教授内容の骨格と中身がそろえてある ので、利用しやすいシステムであるといえる。

公立高校教員

- ・**Inspire Highが使えなくなると**、総合的な探究の時間の計画が大幅に変わってしまい、**業務負担が増えてしまうと思う**。
- ・グローバルな視点からの学習の機会を提供できる機会となっています。実際に行い、生徒たちの反応や刺激も予想以上のもの でした。
取り組む中でも、ほとんどそのまま授業を行うことができる程、完成度が高い です。InspireHighが無くなり、授業や 学校運営、担任を含めてさまざまな業務を行う教諭の仕事をこなす中、0からこうした取り組みを創っていくのは困難です。
- ・**授業準備の負担が少なく**、扱いやすい

私立中学校教員

- ・様々な社会問題について取り扱ってくれており、かつファシリテーターを入れてくれているので、**どの教員が担当しても一定の質が担保されている**。
- ・**授業の準備負担など、助けられていた部分が大きかった** と感じているため。

◎総論

ひとつ再生ボタンを押下すれば、ひとコマの授業が展開できるようなプログラム設計になっていることから
教員の準備は必要最低限で最大効果を発揮できる点が働き方改革に寄与した と言える。

私立高校教員

- ・個人研究でInpsireHighの教材を**熱心に活用している生徒** がいた。
- ・生徒一人ひとりにとって新しい世界に触れ、視野を広げ視座を高める機会として有効だと考えているので、そういった機会がなくなると考えると残念である。
- ・視聴覚学習は座学よりも効果があるエビデンスがあり、活用しない手はない。
- ・**普段絶対に会えない大人の話聞くことができ、同年代の人の意見に触れることができ、その上で自分の意見・価値観を確立** することができた。生徒たちはすごく楽しんでいた。
- ・生徒からすると40分程度で取り組みやすく、テーマを自分から選べる点が他のものよりもいいと考えられるため。

公立高校教員

- ・面白い動画がたくさんあり、**生徒のスライド作りに使えるコンテンツに惹かれた**
- ・生徒が活動の一步目として扱うのに優れている。
- ・**アウトプットや他者から意見がもらえたりするのは興味深い**
- ・探究活動を行うフォーマットもかなり完成度が高く、InspireHighのものを用いれば、より確かな探究活動を行うことができる と確信しています
- ・本校の探究活動の一つの柱となっていた

私立中学校教員

- ・総合学習だけでなく、**道徳の授業などでも使える点が良い**。学年のバランスが取れて良いと思います。
- ・ガイドのお話から考えることで思考が広がる実感が生徒たちにある

Inspire Highのセッションを視聴した高校生のコメント(投稿履歴より抜粋)

- ・自分が幸せになり、心に余裕ができることで他者への思いやり、協力、ができるようになると思った。また、相手も余裕が生まれ、協力してくれたり、思いやりを持ってくれると考えた。そうして、思いやりあえるいいスパイラルが生まれると考えた。**これが私たちの世界平和への一歩になるのでは**と考えた。
- ・将来なりたい、イメージや、やりたい職業はあるけれど、急いでそこをゴールのように見て突っ走って行く必要はないのだなと感じたから。**今、やりたいことは、今しかできないから、たくさん勉強して、学んで、自分らしい選択をしたい**。

Inspire Highのセッションを視聴した中学生のコメント(投稿履歴より抜粋)

- ・勉強に対してマイナスな気持ちの方が大きいので、ちょっとしたことから自分の興味なことへと繋げてイヤイヤやるのではなく、**楽しんで勉強できたらいいな**と思った。そしたら、楽しいことだから勉強も進んでできて、色々なことに興味をもって調べる自分ができたり、たくさんのおもしろいことも覚えられて吸収できるなど共感した。
- ・わたしは勉強は大事だ、と言われても勉強は苦手だという意識が大きくてどうして勉強なんかするんだろうとっていました。**でも勉強することでいろんな視点を学べるから人に優しくなれるという言葉聞いて勉強は自分のためだけじゃなくて誰かにとっても大切になるんだな**と思えました
- ・わたしはこれまで農業について考えたことがありませんでした。しかし、今回の話を聞いて**農業は自分と身近なことが分かりました**。特にフィードバックの物価高騰のことについて印象に残りました。なぜなら、物価が高騰してお米が食べられない時期があったりしていて、小麦のぱんや麺類しか食べられませんでした。なので、このことをキッカケに農業はどれだけ大切かが分かりました。これからは農業について考え流れ過ごしていきたいです

課題 (1)

年間計画構築の必要性

前述の通り、一コマの授業をスポット的に行う際には準備なども必要最小限で最大効果を発揮する授業実施が可能。一方で、年間のねらいや目標から逆算した計画をたてる際には、教材研究など一定の工数が必要となる。

改善策

年間計画などのテンプレートを用意し
連続性のもった計画をたてやすくする

サービス開始から数年が経過しており社内でも年間計画のパターンが蓄積され始めている。過去の実践例から、年間の狙いや目標、学年別などの分け方で、一定のテンプレートを作成し、教員がスムーズに各校用に年間計画をたてやすいよう、工夫していきたい。

課題 (2)

個別最適な探究学習の促進強化

弊社の教材は、必要最低限の準備での一斉授業と、生徒が自由なタイミングで汎用的な探究スキルの習得する分には強みが発揮される。しかしながら生徒ひとりひとり個別の課題が設定された後の、より深みを持たせる伴走には、どうしても教員の声かけが必要。

改善策

生徒自身で個別最適な探究学習が完結するように
プロダクトのアップデートを検討

生徒ひとりひとりが個別で異なる課題を設定し探究学習（個人探究）を進めていくフェーズになった際に、汎用的な考え方やスキルだけでなく、その設定された課題に対し、より深い探究学習を促すような機能を追加していきたい。

課題 (3)

ネットリテラシー不足の場合は 教員の指導が必要

ネットリテラシーが低い生徒の場合、プラットフォーム上で面白いコメントをしようとしたり、ふざけてしまうなどの傾向があり、反対に教員の個別指導が必要になってしまうケースがあった。

改善策

Inspire Highの授業を受けるにあたっての
心構え、ネットリテラシーの事前共有を徹底

児童・生徒向けのお知らせや、教員への授業マニュアルはあるものの、実施有無は教員の判断となっていた。内容をわかりやすく改善する、教員側で伝えやすい資料を準備する、懸念がある場合は事前に実施の徹底をするなどで改善していきたい。

株式会社 Inspire High (インスパイア・ハイ)

- 所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-3
- 設立年月日 : 2019年11月
- 代表取締役 : 杉浦太一
- 従業員 : 29名 (2025年1月時点/正社員のみ)

■ 会社概要 :

Inspire High, Inc. (<https://www.inspirehigh.com/>)

世界中の創造力と10代をつなぐライブ配信セッションのハイライト動画を活用した中学・高校向けの双方向学習プログラムを提供。

Inspire Highは自治体や公立私立の中学校、高校と連携し、総合的な探究の時間、キャリア教育やクリエイティブ教育の教材として数多く活用されている。

共同運営 CINRA, Inc. (<https://www.cinra.co.jp/>)

■ 問合せ窓口 :

・問合せ <https://www.inspirehigh.com/contact/>

・資料DL https://www.inspirehigh.com/school_contact

・サンプル動画 <https://www.inspirehigh.com/sample>

・E-MAIL info@inspirehigh.com (担当: 小松)